

1 施設概要

施設名	高知市春野文化ホールピアステージ		施設所管課	文化振興課
指定管理者名	株式会社四国舞台テレビ照明			
指定期間	令和 5 年 4 月 1 日	～	令和 10 年 3 月 31 日	公募・指名の別 公募
設置目的	市民の明るく豊かな文化生活の向上と発展を目指し、市民による文化・芸術活動の振興に資する。			
業務内容	1 施設の利用に関すること (1) 使用の許可(高知市春野文化ホールピアステージ条例第9条) (2) 使用の制限(高知市春野文化ホールピアステージ条例第10条) (3) 使用許可の取消し等(高知市春野文化ホールピアステージ条例第16条) 2 施設の維持管理に関すること ※ 春野市民図書館及び春野郷土資料館を含む。 3 その他管理運営に関し必要な業務(情報誌の発行やウェブサイトの作成)			
施設内容	大ホール(456席)、小ホール、大ホール楽屋(4室)楽屋事務室、シャワー室、喫茶コーナー、パントリー、控室、会議室、和室、練習室(1,2) 図書館(受付カウンター、ホール、作業室、事務室、会議室) 資料館(地上2階:資料館ロビー、展示室、事務室、倉庫) 駐車場・東側駐車場(大型バス2台)・北側駐車場(普通車54台)・西側駐車場(普通車79台)・庭園及び敷地内緑地			
職員体制	常勤職員	3人	非常勤職員	1人
	パート職員	0人	アルバイト	0人
			契約社員	0人
			その他	0人
			合計	4人

2 目標値と達成状況(指定管理者記入欄)

指標	令和 5 年度 (1 年目)		令和 6 年度 (2 年目)		令和 7 年度 (3 年目)		令和 8 年度 (4 年目)		令和 9 年度 (5 年目)	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績
利用料金収入(円)	6,994,000	7,437,840								
利用者数 (人)	大ホール	25,000	17,279							
	小ホール	12,000	10,928							
	練習室1	1,200	1,000							
	練習室2	1,200	441							
	会議室	300	293							
	和室	200	145							
	控室	500	332							
利用率 (%)	大ホール	55	46							
	小ホール	65	62							
	練習室1	40	38							
	練習室2	40	24							
	会議室	20	12							
	和室	20	6							
控室	30	14								
収入目標額(円)	51,357,000	51,844,529								
目標値に対する達成状況について	大ホールに関して昨年度は他館改修の影響で移ってきた(当館としては大規模な)催しが多(あり、入場者が多(な)ったもの今年度はその影響が収まったため目標には届かなかった。他施設はいずれも目標に届かなかったものの、小ホール・練習室1(音楽用途)・会議室については安定の一方で練習室2(舞踊用途)についてはコロナ禍以降入場人数を抑えての使用が主となる。									

3 利用状況(指定管理者記入欄)

	令和 5 年度 (1 年目)	令和 6 年度 (2 年目)	令和 7 年度 (3 年目)	令和 8 年度 (4 年目)	令和 9 年度 (5 年目)
利用者数	30,418 人				
利用者数:対前年度比	96.0 %	0.0 %	- %	- %	- %
開館日数	307 日				
利用率	大ホール	46.0 %	%	%	%
	小ホール	62.0 %	%	%	%
	練習室1	37.6 %	%	%	%
	練習室2	23.8 %	%	%	%
	会議室	11.6 %	%	%	%
	和室	5.9 %	%	%	%
	控室	13.9 %	%	%	%
利用状況についての評価	前述の理由(昨年度の他館改修)により今年度の利用者数は減少したものの、施設利用率では大小ホールと練習室で前年度比1割前後の増加となる。大ホール45%・小ホール60%を超えるのはコロナ禍直前のR1年度(改修の為12月までの開館)以来であり、コロナ禍以降の利用水準はホール施設を中心に戻りつつある。その一方で一部の小規模施設(会議室・和室・控室)では利用の低迷が続いている。				

※ 利用率の算定方法: 利用日数/利用可能日数  
 ※ R4年度実績 利用者数:31,674人

4 収支状況(指定管理者記入欄)

		令和 5 年度 ( 1 年目)	令和 6 年度 ( 2 年目)	令和 7 年度 ( 3 年目)	令和 8 年度 ( 4 年目)	令和 9 年度 ( 5 年目)
収入	指定管理料	44,297				
	利用料金収入	7,438				
	自主事業収入	0				
	その他収入	110				
	収入計	51,845	0	0	0	0
支出	人件費	13,812				
	光熱水費	11,458				
	保険料	220				
	委託料	14,009				
	修繕費	2,100				
	事業費	0				
	消費税及び地方消費税	0				
	その他の公課費	10				
	事業所税	0				
	その他	6,036				
	支出計	47,646	0	0	0	0
差引収支 (収入計-支出計)	4,199	0	0	0	0	

5 運営状況分析指標(指定管理者記入欄)

		令和 5 年度 ( 1 年目)	令和 6 年度 ( 2 年目)	令和 7 年度 ( 3 年目)	令和 8 年度 ( 4 年目)	令和 9 年度 ( 5 年目)
①	利用料金比率	14.3 %	- %	- %	- %	- %
②	指定管理料比率	85.4 %	- %	- %	- %	- %
③	人件費比率	29.0 %	- %	- %	- %	- %
④	利用者1人当たりの管理コスト	1,566.4 円	- 円	- 円	- 円	- 円
⑤	利用者1人当たりの高知市負担コスト	1,456.3 円	- 円	- 円	- 円	- 円
⑥	外部委託費比率	27.0 %	%	%	%	%

※【運営状況分析指標の考え方】

指標	指標の説明
① 利用料金比率	収入の総額に対して利用料金収入の占める割合を表す。
② 指定管理料比率	収入の総額に対して指定管理料の占める割合を表す。
③ 人件費比率	支出の総額に対して人件費の占める割合を表す。
④ 利用者1人当たりの管理コスト	支出の総額を延べ利用者数で割った金額を表す。
⑤ 利用者1人当たりの高知市負担コスト	指定管理料を延べ利用者数で割った金額を表す。
⑥ 外部委託費比率	支出の総額に対して外部委託費の占める割合を表す。

6 利用者の満足度調査等(指定管理者記入欄)

		令和 5 年度 ( 1 年目)	令和 6 年度 ( 2 年目)	令和 7 年度 ( 3 年目)	令和 8 年度 ( 4 年目)	令和 9 年度 ( 5 年目)
調査の実施内容	① 調査方法	郵送	郵送	郵送	郵送	郵送
	② 調査期間	R6/2/7~R6/3/8				
	③ 配布数	100				
	④ 回収数	53				
	⑤ 回収率	53.0 %	- %	- %	- %	- %
調査結果	【抜粋】※当日スタッフ対応 大変感じが良い 94% まあまあ感じが良い 2% どちらとも言えない 2% 以下の(ネガティブ)回答 2% ※施設の感想 大変使いやすい 61% まあまあ使いやすい 37% どちらとも言えない 2% やや使いにくい 0% 大変使いにくい 0%					

7 利用者からの苦情・意見等及びそれらへの対応(指定管理者記入欄)

日付	苦情・意見等	対応状況
R5年6月2日	図書館利用者より駐車禁止用コーンの置き位置について苦情あり(雨天時に濡れる)	コーン内側に点字ブロックがあり保護目的であることや、ブロック上に駐車される方が居ることを伝えたくて納得していただく

## 8 評価シート(自己評価・一次評価・総合評価)

### (1) 業務の履行状況の確認

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会
1 開館時間等	条例に基づき、開館時間・休館日は遵守されているか	3	3	3.0
2 法令等遵守	地方自治法、施設に係る条例その他関係法令等は遵守されているか	3	3	3.0
3 職員配置	適切な人員配置がされたか	3	3	3.0
4 職員研修	管理運営のために必要な研修等が適切に行われたか	3	3	3.0
5 使用許可業務	条例に基づき、適正な申請受付業務・使用許可業務が行われたか	3	3	3.0
6 施設の平等利用の確保	施設利用申請等に対する平等の確保策はとられているか	3	3	3.0
7 利用料金(使用料)	利用料金の設定、徴収・減免・還付等の手続は適切に行われているか	3	3	3.0
8 保守点検業務・警備業務	保守点検業務・警備業務は適切に行われたか	3	3	3.0
9 清掃・維持管理業務	清掃、維持管理業務は適切に行われたか	3	3	3.0
10 修繕業務	修繕業務は適切に行われたか	3	3	3.0
11 事業の実施状況	条例、事業計画書等に基づき、事業を実施しているか	3	3	3.0
12 関係部署と連絡調整	図書館・資料館と指定管理者との間で十分に連絡がなされているか	3	3	3.0
13 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準か	3	3	2.3
14 利用促進の取組	利用者増加のための対策は適切に行われたか	3	3	3.0
15 施設賠償責任保険の加入	施設賠償責任保険に加入しているか	3	3	3.0
16 利用者の安全確保対策	事故時の対応体制(マニュアル作成、訓練等)が確立されているか	3	3	3.0
17 緊急時対応	緊急時・防災時の対応体制(マニュアル作成、訓練等)が確立されているか	3	3	3.0
18 個人情報保護に関する事	個人情報保護に関する対策は適切か	3	3	3.0
19 情報公開に関する事	情報公開に関する対応は適切か	3	3	3.0
20 備品購入・管理の状況	備品の購入手続・管理体制は適切に行われたか	3	3	3.0
<b>配点60点(20項目×3点)</b>		<b>小計</b>	<b>60</b>	<b>59.3</b>

#### 評価基準

点数	小項目の評価基準
3	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営に達しておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がほとんどなされておらず、早急な改善が必要である。
0	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が全くなされておらず、抜本的な改善が必要である。

### (2) サービスの質の確認

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会
1 利用者ニーズの把握	利用者ニーズを把握するとともに、利用者ニーズを事業の計画及び実施に反映できているか	5	4	3.0
2 接客態度・苦情要望等への対応	接客態度、苦情・要望等への対応等は適切か	5	4	3.0
3 施設内の案内表示	施設内の案内表示は見やすくなっているか	5	3	3.0
4 利用案内	施設情報・事業実施情報等は容易に入手できるようになっているか パンフレット・利用案内等は分かりやすくなっているか	5	3	3.0
5 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適切か	5	4	3.0
6 修繕業務(予防含む)	施設維持のための予防を含む修繕業務は適切か	5	3	3.0
7 施設運営業務	実施された事業内容は適切に行われているか	5	4	3.0
8 自主事業の実施状況	施設目的に沿った自主事業が実施されたか	4	4	3.0
9 目標達成度	施設目的・課題に沿った目標を設定し、目標達成に向けた取組はなされたか	5	4	3.0
<b>配点45点(9項目×5点)</b>		<b>小計</b>	<b>44</b>	<b>27.0</b>

#### 評価基準

点数	小項目の評価基準
5	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、非常に優れていると認められる。
4	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
3	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営に達しておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がほとんどなされておらず、早急な改善や目標の見直しが必要である。
0	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が全くなされておらず、抜本的な改善が必要である。

## (3) サービス提供の継続性と安定性

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会
1 経費節減・効率的な運営	経費節減及び効率的な管理運営のための工夫が見られるか	3	3	3.0
2 事業収支	事業収支は妥当か	3	3	3.0
3 経営状況	指定管理者の経営状況は妥当か	3	3	3.0
4 人件費比率	支出に占める人件費の割合は妥当か	3	3	3.0
5 外部委託費比率	支出に占める外部委託費の割合は妥当か	3	3	3.0
配点15点(5項目×3点)		小計	15	15
			15	15.0

## 評価基準

点数	小項目の評価基準
3	事業計画・収支計画等に基づく経営がなされている。
2	概ね事業計画・収支計画等に基づく経営がなされているが、簡易な改善や一部業務の見直しを要する。
1	事業計画・収支計画等に基づく経営がほとんどなされておらず、早急な改善が必要であり、業務の全面的な見直しが必要である。
0	事業計画・収支計画等に基づく経営が全くなされておらず、抜本的に業務の全面的な見直しが必要である。

## 9 自己評価・一次評価結果

## (1) 評価結果

評価分類	配点	自己評価 (指定管理者)	配点に対する割合	一次評価 (施設所管課)	配点に対する割合
(1) 業務の履行状況の確認	60 点	60 点	100 %	60 点	100 %
(2) サービスの質の確認	45 点	44 点	98 %	33 点	73 %
(3) サービス提供の継続性と安定性	15 点	15 点	100 %	15 点	100 %
合計	120 点	119 点	99 %	108 点	90 %

## (2) 自己評価(指定管理者評価)の内容

年度	評価内容
5	当館は2018年頃より市内他館改修から自身の改修そしてコロナ禍と、利用水準に直結する大きな影響を受け続けてきましたが、今年度はそれらの影響がほぼなくなり、いわば「当館の現在地」が素直な数字として表れた年度であったと感じています。劇場施設である大ホールは市内中心部の他館と比較して特に平日の使用がされにくい不利な状況のなかで上記の影響がない頃の水準まで戻っています。また、当館は大部分の利用者がアマチュアの方であるがゆえ、コロナ禍以前より利用に関する相談を多く受けながら結びつきを深める形で運営を行ってきたことが、コロナ5類移行後の利用水準の速やかな回復傾向の要因であったと考えます。施設管理については長年の課題であった図書館建物雨漏りに関する修繕を行い、経過観察中ではあるものの現状では一定の効果が見られていると考えられます。また太陽光発電設備の不具合に関しても修繕対応をおこないました。利用者アンケートについては変わらず郵送・無報酬の手段で行っています。回収率はやや低下したものの50%を超えており、比較的高い水準を維持しております。また、概ね利用に関して感じが良い・使いやすいとの回答が多くを占めております。
6	
7	
8	
9	

## (3) 一次評価(施設所管課評価)の内容

年度	評価内容
5	<p>地元の小学校から社会科見学の 일환として大ホールを見学したいと相談を受けたことから、見るだけよりも実際に劇場らしい体験をしてみたいと指定管理者から提案して、舞台を使ってクラスごとの合唱会を行うなど、利用される方の目線に立った対応を積極的にされています。文化・芸術を身近に感じられるホールとして、周知されると期待できます。これからも少しの工夫とアイデアを駆使して使いやすさをアピールしてください。</p> <p>施設設備の改善を図るための備品の購入や雨漏り修繕など、効果的な施設管理ができています。今後も実情に即した安全で適正な管理運営の継続をお願いいたします。</p>
6	
7	
8	
9	

## 10 総合評価結果

## (1) 評価結果

評価分類	配点	評価 (指定管理者業務評価委員会) 合計	配点に対する割合	評価
(1) 業務の履行状況の確認	60 点	59.3 点	99 %	<b>A</b>
(2) サービスの質の確認	45 点	27.0 点	60 %	
(3) サービス提供の継続性と安定性	15 点	15.0 点	100 %	
合計	120 点	101.3 点	84 %	

## 評価基準

区分	S	A	B	C
評価基準	評価点数の合計値が配点合計点数の85%以上、かつ、全ての小項目で3点以上の評価であるもの	・評価点数の合計値が配点合計点数の65%以上85%未満 ・評価点数の合計値が配点合計点数の85%以上、かつ、小項目で3点未満の評価があるもの	評価点数の合計値が配点合計点数の45%以上65%未満	評価点数の合計値が配点合計点数の45%未満
評価内容	・事業計画書・仕様書を上回る取組がなされ、非常に優れた実績をあげている。 ・適正に管理運営が行われており、またはそれ以上の取組がなされ、優れた実績をあげている。	事業計画書・仕様書に沿って適正に管理運営が行われている。	概ね事業計画書・仕様書に沿った適正に管理運営が行われているが、管理運営の一部に改善を要する。	事業計画書・仕様書に沿った管理運営が行われていない事項があり、管理運営の大部分において改善を要する。

## (2) 総評

事業計画書・仕様書に沿った適正な管理運営がなされています。  
 利用者数及び利用率は目標値未達成ですが、利用料金収入は目標を達成できています。  
 引き続き、利用者アンケート調査の手法の工夫を行い、利用者ニーズの把握に努め、自主事業を充実させるなど、満足度向上や利用拡大につながる取組の実施を期待します。

## (3) 総合評価実績

年度	評価結果	総合評価 点数	総 評
5	101.3	A 点	事業計画書・仕様書に沿った適正な管理運営がなされています。 利用者数及び利用率は目標値未達成ですが、利用料金収入は目標を達成できています。 引き続き、利用者アンケート調査の手法の工夫を行い、利用者ニーズの把握に努め、自主事業を充実させるなど、満足度向上や利用拡大につながる取組の実施を期待します。
6		点	
7		点	
8		点	
9		点	

## 11 指定管理業務における課題・改善事項及びそれらへの対応(指定管理者記入欄)

課題・改善事項	改善時期	改善に向けた対応
設備面対応力の強化	現在	当館では少人数で幅広い業務を行っております。私どもは舞台技術を専門としている組織であり、その分野における専門性に対応力は十分に持ち合わせているという自負はありますが、建築やそれに付随する設備運用(ビルメンテナンス)の専門家は常駐していない状況です。当館における長年の指定管理運営の経験上の蓄積はありますが、職員知識の平均化等今いちどそれらの分野での対応力の強化を図ります。